

信頼されるかかりつけ医に

枚方市 松尾 信郎

新型コロナウイルス感染 ことはありません。身近な
が日本で広がってからも クリニックの重要性が再認
う1年以上が経過しまし 識されてきたように思いま
た。医療とは何なのか、今 す。
日ほどの本質が試される ダイヤモンドプリンセス



号での感染者の報道があ
り、中国人医師がこの感染
症で死亡するなど医療従事
者は常に脅威を感じていた
と思います。

診療所の医師は代わりが

いません。そんな中、発熱
や倦怠感などで感染が疑わ
れた場合も、保健所の負担

軽減のためにかかりつけ医
への相談をまず行うように
するという方針が出され、

全国のかかりつけ医に直
接、電話相談し受診するよ
うになりました。感染対策

の最前線に立ち、自身の生
命が危機にさらされる過酷
な状況下において、感染リ

スクと隣り合わせで働いて
いる医療従事者が感染せず

に診療を継続できて医療崩
壊を起こさない体制を作っ
ていかななくてはいけないと
切に思いました。

2020年の前半の仕事
は、通院できる体制を整え
ることでした。医師は自分

が健康であって初めて診療
ができます。日々多くの患
者さんが訪れる場所ですか

ら「うつさない」「うつさ
れない」ために感染対策の
徹底が重要です。日本医師

会の安心マークを貼って、
手探りの中で診療していた
ように思います。

2021年になりワクチ
ン接種が始まりましたが、
地元に着着した開業医が中

心となった地域は接種がう
まく進みました。本来は医
療崩壊の起こった大都市の

全医療関係者に、まず、ワ
クチン接種を行うべきであ
ったかと思えます。その上

で、未知の副作用がある可
能性については注意しなが

らワクチン接種を全人口に
広げていくことも必要とさ
れます。

このコラムを書いている
時点では重篤な副作用はな
いと考えられるので、希望

する多くの方がワクチンを
打つことが肝要です。今後
は、国産ワクチンの実用化

は必須であり、海外での治
験の後に緊急措置としての
許認可も考慮されるべきで
しょう。

4人に1人が高齢者の高
齢化社会なので、から、か
かりつけ医は血管病と関連

するコロナの感染者のリス
クを評価して、高度医療機
関につなげることを担って

います。まだまだ感染防止
のための制限のある生活は
続きますが、新型コロナウイルス以

外にも、命を脅かす病気は
多くあります。有事の際に
機能する、信頼される地域

のかかりつけ医になろうと
思っています。